

IP価値変換構造図

IP Value Conversion Map — 知財の「価値発生」を会計の手前で可視化する

IP費用支出 / Operating-type

出願・権利化・年金・社内R&D
当期費用化 → 営業利益を圧縮
B/Sには資産として現れない

IP資本支出 / Capital-type

買収取得・外部ライセンス・
資産化された開発費
B/Sに無形資産計上 → 償却配賦

IPファイナンス / Financing-type

IP担保融資・知財証券化
金融費用 / 借入(Borrowings)
→ P&L金融費用・B/S負債へ

凡例 / Legend

→ 会計フロー
費用化／資産計上／借入

★ 既存の財務・評価図にない挿入層

Income Statement | 損益計算書 (IP起因)

Revenues: IP起因収益 (ライセンス料・プレミアム価格・保護シェア)

— 差引: IP費用支出

= Operating Profit: IPが効いた本業利益 +

— 差引: 金融費用 (IPファイナンス分を含む)

Taxable income → Taxes

= Net income: IPが最終的に残した利益 +

※各行の「IP寄与分」を切り出すのがIP-P&Lの役割

変換層 / Conversion Layer (CLC) ★既存の財務・評価図にない挿入層

権利の存在 → 競争優位 → 財務インパクトの写像は

自動ではない。変換能力(CLC)に依存する。

= ここが「IPの実現価値は変換能力に条件づけられる」の核心 (IPCTの中心原理)

CLC スコア (4次元×12項目)



0

24

4次元: 確保 → 増幅 → 展開 → 専有 (各0-6)

Balance Sheet | 貸借対照表

Assets | 資産

Fixed Assets (固定資産)

Current Assets (流動資産)

Financial Assets (金融資産)

Intangible Assets (無形資産) ← 主役

計上される無形資産: 取得特許・取得商標 (のれんは別区分)

未計上の知財価値 = Shadow IP

自己創出IP・ブランド・ノウハウ・データ

(原則費用化／一部のみ資産計上 — 基準・局面で異なる)

Liabilities & Equity | 負債・資本

Current liabilities (流動負債)

Debt / Borrowings (有利子負債)

Other liabilities (その他負債)

Equity (純資産)

IPファイナンスはここに
負債として現れる

※ 本図は価値発生の「構造」の可視化。個別評価額・実装手順は別途。会計処理は基準(IFRS/日本基準)・局面で異なる。

※ 語彙: Shadow IP=未計上の知財価値／CLC=変換層能力指標(0-24)。

† Operating Profit・Net income の「IP寄与分」切り出しは推計を含む分析的構築物であり、制度開示の行ではない。

※ Shadow IPは広義の無形価値 (ブランド・ノウハウ・データを含む)。のれんはIFRS非償却。M&A時はPPAで公正価値計上され顕在化。